

主催：神戸市保健福祉局 発達障害ネットワーク推進室
発達障害支援講演会

発達障害のある人の思春期・青年期以降の支援のあり方 ～生きにくさへの理解と、生きるスキルを身につけるための支援～

講師 定本 ゆきこ 氏 精神科医 京都少年鑑別所法務技官

日時 2010年3月29日(月) 10時30分～12時30分(受付10時00分～)

会場 ピフレホール(新長田勤労市民センター別館) 神戸市長田区若松町4-2-15

定員 300名

締切 3/15

発達障害のある人は、得意・不得意なことのアンバランスが大きく、「困り感」をもちやすく、また、同時に誤解をうけてしまいやすい状況にあります。特に思春期以降、対人関係のとりにくさがあるといわれる発達障害のある子どもは、周囲とのなじめなさや孤立感、違和感を感じる人が多いといえます。

二次障害としての不登校、引きこもり、非行なども問題となっています。思春期・青年期を迎えた発達障害のある人の課題と、それをどう共に乗り越えていくかを考えることによって、親や支援者が本人の特性をしっかりと理解し、寄り添い、本人の社会的自立を支えていけるような学びの機会としたいと思います。

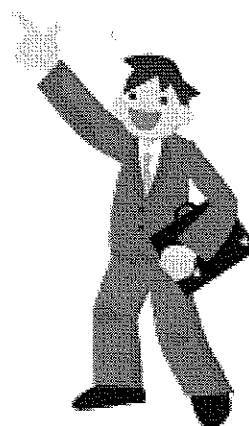
講師紹介

定本 ゆきこ 氏 精神科医 京都少年鑑別所法務技官

略歴

1985年奈良医科大学卒業。大阪淀川キリスト教病院のホスピスなどでの臨床経験を経て、京都大学医学部附属病院精神科に入局。1991年から京都少年鑑別所法務技官・精神科医として勤務。

非行を犯した子どもたちの指導に携わるほか、発達障害、女性のDV被害、薬物依存などの問題に取り組んでいる。現在、京都市教育委員会特別支援教育サポートチーム委員、京都市教育委員会学校問題解決支援チーム専門委員、京都障害者職業センター医学アドバイザーなども務めている。



お問合せ

神戸市 発達障害ネットワーク推進室 担当/小幡・柿原
神戸市中央区東川崎町1-3-1 E-mail:hattatsu-suishin@office.city.kobe.lg.jp
TEL:078-382-2760 FAX:078-382-2766

入場無料

300名:申込先着順

定員になり次第締切ます

